

公共事業新規実施予定箇所

事業名	路線名	市町村名	字名等	事業概要	事業費（千円）
県単独事業					
県単道路改築	(一) 山中湖 小山線	小山町	上野	道路拡幅工 L=0.6km	295,000
県単道路改築	(一) 大坂富 士宮線	富士宮市	東阿幸地	道路拡幅工 L=0.29km	270,000
県単道路改築	(一) 南伊豆 松崎線	松崎町	岩科北側	道路拡幅工 L=0.35km	100,000
県単道路改築	(一) 韮山伊 豆長岡修善寺 線	伊豆の国市	南江間	道路拡幅工 L=0.25km	210,000

各事業箇所の概要等は別紙3のとおり

事業名： 県単道路改築

路線名： 一般県道山中湖小山線（小山町上野）

1 事業概要

全体事業費：	C = 295 百万円
計画期間：	令和 3 年度～令和 7 年度
計画概要：	道路拡幅工 L = 600m

2 目的・必要性

一般県道山中湖小山線は、山中湖畔を起点とし、小山町中島（国 246 号中島 IC）を終点とする静岡県と山梨県を結ぶ県道である。

本事業は、東京オリンピックロードレースコースとなっている延長 600m 区間の線形不良及び幅員狭小箇所を拡幅改良することにより、円滑な交通の確保を行うものである。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	—	—
	安全な生活を実現するみちづくり	東京オリンピックロードレースコース	A
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり	—	—
	地域の生活と自立を支援するみちづくり	線形不良	A
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり	—	—
重要性	既存計画への位置付け	—	—
緊急性	速やかな事業着手の必要性	—	—
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	概ね 5 年以内に事業完了 前後区間整備済	2 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地買収同意済 地元要望有り	3 A
計			7 A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの

事業名： 県単道路改築

路線名： 一般県道大坂富士宮線（富士宮市東阿幸地）

1 事業概要

全体事業費：	C = 270 百万円
計画期間：	令和 3 年度～令和 7 年度
計画概要：	道路拡幅工 L = 290m

2 目的・必要性

一般県道大坂富士宮線と一級市道大塚弓沢線との交差点は、県道が未改良のためすれ違いが困難であり、慢性的な渋滞が発生している。
本事業は、交差点改良による円滑な交通の確保を行うものである。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	—	—
	安全な生活を実現するみちづくり	通学路 自動車交通量 5,407 台/日	2 A
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり	—	—
	地域の生活と自立を支援するみちづくり	線形不良 バス路線	2 A
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり	—	—
重要性	既存計画への位置付け	—	—
緊急性	速やかな事業着手の必要性	—	—
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	概ね 5 年以内に事業完了	A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地買収同意済 地元要望	3 A
計			8 A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの

事業名： 県単道路改築

路線名： 一般県道南伊豆松崎線（松崎町岩科北側）

1 事業概要

全体事業費：	C = 100 百万円
計画期間：	令和 3 年度～令和 6 年度
計画概要：	道路拡幅工 L = 350m

2 目的・必要性

一般県道南伊豆松崎線は、松崎町と南伊豆町を結ぶ唯一の県道である。
本事業は、延長 300m 区間の狭隘な箇所を拡幅改良することにより、円滑な交通の確保を行うものである。

3 評価

視点	評価項目		評価指標	評価
必要性	「ふじのくにの“みちづくり”」に掲げる施策との整合	災害に強く信頼性の高いみちづくり	—	—
		安全な生活を実現するみちづくり		
		多様な交流や経済活動を支えるみちづくり	—	—
		地域の生活と自立を支援するみちづくり	バス路線	A
		美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり	—	—
重要性	既存計画への位置付け		—	—
緊急性	速やかな事業着手の必要性		—	—
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性		概ね 5 年以内に事業完了 起点側整備済み	2 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）		用地買収同意済 地元要望	3 A
計				6 A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの

事業名： 県単道路改築

路線名： 一般県道葦山伊豆長岡修善寺線（伊豆の国市南江間）

1 事業概要

全体事業費：	C = 210 百万円
計画期間：	令和3年度～令和5年度
計画概要：	道路拡幅工 L = 250m

2 目的・必要性

一般県道葦山伊豆長岡修善寺線は、旧葦山町を起点に、旧伊豆長岡町の中心部を通り、旧修善寺町内までを南北に結ぶ幹線道路である。

本事業は、延長 250m 区間の狭隘な箇所を拡幅改良することにより、円滑な交通の確保を行うものである。

3 評価

視点	評価項目	評価指標	評価
必要性	災害に強く信頼性の高いみちづくり	—	—
	安全な生活を実現するみちづくり	太平洋岸自転車道 自動車交通量 7,827 台/日	2 A
	多様な交流や経済活動を支えるみちづくり	—	—
	地域の生活と自立を支援するみちづくり	線形不良 バス路線	2 A
	美しい景観と潤いある環境を確保するみちづくり	—	—
重要性	既存計画への位置付け	—	—
緊急性	速やかな事業着手の必要性	—	—
効率性	費用対効果・事業規模の妥当性	概ね3年以内に事業完了	2 A
熟度	事業の熟度（執行の環境）	用地買収同意済 地元 PI 実施	4 A
計			10A

※ A 評価（通常評価）：効率性、必要性、熟度の視点について、客観的指標等により評価するもの

※ S 評価（優先度評価）：既存計画等に位置付けられた「重要性の高い箇所」や、速やかに事業着手する必要がある「緊急性の高い箇所」を、優先度が高いと判断し評価するもの